



市民広報特派員リポート
「地元の歴史を知る」

実際に現地へ行ってきました。



奈良県境を眺める



伊賀勢最後の砦 柏原城

赤目町柏原にある勝手神社から東へ徒歩5分ほどのところに「柏原城(瀧野十郎城)」があります。
赤目町柏原区長の富森一弥さんに、現地を案内していただきました。

地元に住む人たちに 地元の歴史を知ってほしい

柏原城に行くときは、入口に説明看板があります。

「赤目には、たくさん歴史資源があります」と話す富森さん。

その歴史資源をたくさんの人に知ってもらおうと、赤目まちづくり委員会では、史跡など16カ所に説明看板を設置したそうです。

「観光客などにも知ってもらいたいけど、まずは、地元の人にもふるさとを歴史をよく知ってもらい、自分のふるさとを自慢できるようにしてほしい。そうなれば、赤目をたくさんの人に知ってもらえるようになると思う」と富森さんは熱く語ります。

自然の地形を存分に 利用した柏原城

次に富森さんは、お城の立地条



あぜ道を抜けると柏原城

件などを話してくれました。

「当時の城は、石垣を組んだり、天守閣があったりする城ではなく、自然の地形を利用したもので、砦といったほうがイメージしやすいかな。柏原城は、小高い山であり、当時設置していたと思われる櫓からは、正面に見える県境あたりの動きを監視していたと思います。見通しがよいということもお城の設置場所としては重要な要素。また、まわりの川も自然のお堀になっています。そして逃げる場所があることも重要。『柏原城』の背後には、山があり隠れ場所になっていたようです」。

当時の城の様子を 今も残す柏原城

富森さんは、広場となっている周辺を歩きながら説明を続け、「周囲は土塁や空堀で守りを固めていたあとが今も残ります。そし

名張市内の中世城館マップ(総務室市史編さん担当調べ)



- 中世城館跡
- 織田軍関係

て生活に欠かせない水は、現在も残る『お滝女郎井戸』から汲み上げていたと思われれます。井戸があると、戦が起きたとき、もう一度城として使われることがあるので、壊されずに残っているのもめづらしい」と話します。

虎口(城の入口)があったと思われる場所には、地面を補強したと思われる石積みが残ります。広場は草木が刈られていました。地元の人たちが協力して手入れしたそうです。

「ここで、音楽会なんかできたらいいなと思っています。蚊の少ない季節にね」と富森さんは笑顔で話してくれました。



※現在、総務室市史編さん担当が確認している市内の中世城館は、70カ所です。



子ども支援センター **かがやき** 催物

開館時間 午前9時
30分～午後5時

※日・月曜日、祝日、年末
年始は休館。月曜日が祝
日のときは翌日休館

▼はじめて広場 10月11
日 金 午前10時30分～
「かがやき」を利用した
ことがない人は、気軽に
ご参加ください。

▼親子で遊ぼう「伊賀シンフォニックアカデ
ミー演奏会」10月5日 土 午前10時45分～
◎参加無料

☎ 子ども支援センターかがやき
(桔梗が丘西3) ☎67-0250



かがやき
大時き

南口 悠人くん
真央ちゃん
(百合が丘東)

「市民プール忘れ物」保管期限は12月28日 市民プールの忘れ物は、総合体育館(夏見)で保管しています。水着、タオル、浮き輪、ゴーグル、帽子など、忘れ物をした人は、電話でお問い合わせください。

☎ 総合体育館 ☎63-5339

リバーナホール催物

[イオン名張店3階]

☎ 商工経済室 ☎63-7824

■手描き友禅を身近で楽しむ会

日時 10月5日 土・6日 日

午前10時～午後6時(最終日は4時まで)

主催 手描き友禅の会

■第7回五クラブ写真合同展

日時 10月11日 金～14日 祝

午前10時～午後6時(最終日は5時まで)

主催 フォトクラブ美光

■名張水彩画会作品展

日時 10月17日 土～20日 日 午前10時～午後

6時(初日は正午から最終日は5時まで)

主催 名張水彩画会

■全日写連名張支部の展

日時 10月25日 金～27日 日

午前10時～午後6時(最終日は5時まで)

主催 全日本写真連盟 名張支部

国津の杜の行事

☎はぐくみ工房あららぎ ☎62-6920

■木工教室 木製プランターを作ります。

日時 10月13日 日 午前9時30分～正午

講師 土井 義政さん 定員 10人

参加費 1,500円(材料費含む)

持ち物 手袋、タオル

■体操教室 万代くみ子さんの健康体操

日時 10月15日 日 午前10時～11時30分

定員 16人 参加費 300円

持ち物 敷きマット、屋内用靴、タオル

■韓国料理教室 白菜キムチを作ります。

日時 10月15日 日(塩漬け)・16日 日(本

漬け) 午後1時30分～

講師 李 辰淑さん 定員 16人

参加費 1,500円(材料費含む)

持ち物 エプロン、三角巾、容器、白菜2kg

☆☆☆☆☆

申込 9月24日 日 から10月7日 日 までに、

電話で問い合わせ先へ

※ 先着順。参加者が少ない場合は中止



南伊賀支配の拠点としても整備された滝川氏城
「滝川氏城は、四方を高さ約3mの土塁が囲む、三重県下最大級の単郭式城郭(郭…役割を持たせた城の単位)として貴重です。現在は地域の運動場として利用され、ソフトボールなどでもできる広さです」と門田さん。
続いてなぜこの地に城を作ったかについて門田さんは、「伊賀勢

が柏原城で籠城し抵抗が続いていたため、この城は、前線で疲れた兵が休める駐屯地であったと思われれます。そして、万が一前線が突破されても、柏原城方面からの攻撃があっても、見通しのよい平地で、大軍で迎え撃つことができる絶好の場所でありました。また、織田軍は、戦いの後も南伊賀の支配の拠点になるように大規模な城にしたと思われれます」と話します。

書物に残る信長が名張に来た事実
門田さんは、「織田信長がこの城に来たんだよ」と教えてくれました。
幼少期から本能寺の変までを記した信長の一代記「信長公記」には、伊賀勢が降伏して間もないころに、信長が小波多まで家来をつけて陣中見舞いに来たと言われているそうです。



四方を3mの土塁が囲む

織田信長も訪れた 滝川氏城

美旗古墳群の一つ、貴人塚の南にある丘陵、現在、下小波田地区の運動場として利用されているのが、「滝川氏城」です。
市教育委員会の門田了三さんに現地を案内していただきました。



上空から見た滝川氏城

市民広報特派員 原くんの視点



松鹿さんには、「天正伊賀の乱」の詳しい話を聞くことができました。自分で調べるだけでは、分からないことがほとんどでした。それを分かりやすく話をしてくれましたので、天正伊賀の乱について理解することができました。また、松鹿さんから、後世に名張の歴史を伝えていきたいという思いが伝わってきました。

富森さんと門田さんには、現地で説明を聞くことができました。今までにも家族と一緒に城跡などを見に行きましたが、地域のことや歴史をよく知るお二人に話を聞くことで、自分の理解が深まりました。また、富森さんの「地元の歴史を、地元の人に知ってもらいたい。そして自分のふるさとを自慢してほしい」という言葉が心に残ります。ぼくもこれから、名張の歴史についてもっと知りたと思いました。

今回のレポートを読んで、市内の城跡に興味を持っていただけたらうれしいです。紹介した2つの城以外にもたくさんの城跡がありますので、ぜひ見つけにお出掛けください。